



読字 原田 鏡

No. 794

2016/ 4/5

# 日中友好新聞

発行所  
日本中国友好協会  
〒113-0033 東京都文京区  
本郷1-1-1817203室

日中友好協会  
岡山支部  
〒710-8256  
岡山東区3-8-30 514  
TEL:086(2)72-3010  
郵便番号1100  
01250-0-3835

日中友好協会  
倉敷支部  
〒713-8511  
倉敷市遠島中央1-8-4  
(宮地方)  
TEL:FA3(086)446-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ  
<http://rzhong.biz/>  
メールアドレス  
rzhong86@hotmail.co.jp



## 日中友好協会岡山支部

# 太極拳講習会85期修了式

3月16日、85期の修了式が8人の参加で行われました。いつもはTシャツ・トレパン姿ですが、今日は赤や青のカラフルな表演服で華やいだムード。準備体操のあと全員で簡化、1人1級の認定審査の後、32式剣、42式、42式剣の表演が行われました。むずかしいの、よう覚えたね。「うまくなった。」と称賛の声、半年の成果をかみしめた一日でした。

緊張した後はかまめしやで交流夕食会、量、味ともに大満足。それにしても来期は入門者が来てほしいね。「なんとかしなきや。」課題も満載ですが、一本じめで決意を新たにしました。  
岡田



## 帰国邦人Aさんの介護(2)

Aさんは病院に入院した後、一時期は退院して老人ホームへ入所しましたが、不安になると大声で職員を呼んだりベッドの鉄枠を揺らして音を立て続けるので、また病院へ再入院しました。食べ物を飲み込む力が弱ったので、お腹に穴を開けてチューブを通し、胃に栄養を流し込むよう手術したり、ほかの病院に移ったりしました。そのたびに通訳の人に説明してもらいましたが、認知力が低くなっているAさんはいつも不安だろうと思います。

Aさんは疎遠になっている家族に会いたいといいますが、家族関係が複雑だったので家族も面会に来られない状況です。

後見人は財産を管理したり、毎月本人と会って体調や心情を確認しています。

Aさんは面会が少なくさびしがることもありますが、最近では一人で暮らすことをあきらめて受け入れているようでもあります。通訳の人はAさんが元気だった頃からAさんを支援していたので、Aさんにとって心を許せる相手であったことが何よりの救いだと思います。

行政書士 松田葉子

## 玲子さんを励ます会

### 総社日本語教室

昨年11月8日、富岡義晴さんが亡くなられました。73歳でした。

総社日本語教室では、2月25日、富岡さんの妻 玲子さんを励ます会をサンロードで行いました。(受講生2人、講師7人)

富岡さんは2歳半はで残留孤児になりました。50歳で永住帰国。実母と姉、シベリア抑

留から無事帰国した父と再会(身元判明40歳)。総社日本語教室(開講2005年6月2日)には最初から参加されました。

添削をお願いします」と富岡さんはパソコンで書いた自分の思いや旅行、読書感想をよく持つて来られました。その中には 工場の仕事の休憩時間にも勉強をしています。日本

語教室の一年間は以前の13年間に覚えた量に匹敵します」の文章も。

岡山県母親大会分科会では日本語で報告(通訳は準備していたのですが)さらには国賠訴訟の支援の訴えと日中両国の友好を願っていることまで話され、中味の起・承・転・結にびつくりしたこともありました。

富岡さんが殊の外、気にしていた「配偶者支援法」の成立と実施を見届けるように逝ってしまった。

妻の玲子さんは時々涙ぐむ

こともありましたが、毎日のスポーツジム通い、週二回の日本語教室もあり、3人の息子たちのところ行く暇がないと笑っていました。

夫の葬儀、納骨等慣れない行事も大変だったようです。夫の父は105歳で健在です。配偶者支援は 少ないです。二人とひとり生活同じです。やりくり大変です。「電子辞書を駆使しながら日本語で話してくれました。

西森文字



# 劉勝徳会長の古希祝賀会に出席

日中友好協会岡山支部 小林軍治

3月20日、第一セントラルビルの中国四川料理「又来軒」岡山駅前店で開催された、標記の会に日中岡山支部代表として出席しました。

会には、岡山県華僑華人総会(※注1)の会員を初め、県内の日中友好諸団体の代表、大学関係者、政界、経済界及び留学生、技能実習生、中国帰国者など約90人が参加していました。

参加者はそれぞれの立場から劉会長との交流や功績を紹介しながらお祝いの言葉を述べました。

私はBテーブルで、倉敷芸術科学大学の趙慧欣教授(残



挨拶をする劉会長



左から後藤さん、高杉さん、小林さん、奥津弁護士

留婦人の二世)、岡山商科大学孔子学院の黎曉妮副学院

長と同席となり、劉会長の人柄や中国残留留婦人の話をしました。同時に、来年3月20日(月・春分の日)に実施される第3回中国百科検定の協力を要請しました。

私は、劉会長及び華僑華人総会と日中岡山支部の、長年にわたる相互の各種行事へ代表を送るなどの、交流を紹介しました。そのうえで、次の2点を述べ祝辞としました。

一つは、劉会長が県内の日中友好の諸団体と平等な関係を保ち日中友好の促進のため

つには、中国帰国者の生活上の悩みに親身になって相談にのり、感謝されていること。

会は、劉会長が70年の歩みを振り返りながら、祖国の故里の事情をよく知っているのはあなたです。岡山の良いところを故里にかえて紹介してください。」そして、ウインウインの関係で中日の世界が見える(わかる)あなたが必要です。」と若い人への期待を語るとともに、会を企画した人と参加者に感謝を述べて終わりました。

(※注1)同じ中国人の血が流れているが、華僑とは中国国籍、華人は日本国籍

## 第86期太極拳講習会

※4月6日(水)午後6時～8時  
 ※月3回程度水曜日【全18回】  
 ※さんかく岡山(岡山市北区表町)  
 ※主催・日中友好協会岡山支部

岡山弁護士会2016(平成28年)年度 憲法記念県民集会

## 危機に立つ立憲主義

—安保法廃止を目指して—

2016年  
 5月7日(土)13時開場  
 13時30分～  
 岡山シンフォニーホール 大ホール  
 ゲスト:小林節(憲法学者・慶応義塾大学名誉教授)  
 制服向上委員会&中川五郎  
 13:30 小林節講演  
 「憲法の危機～私たちは何をなすべきか」  
 15:00 制服向上委員会&中川五郎ライブ  
 16:30 安保法廃止を求めるパレード予定

《中国残留孤児の実態から》

## 隣国「中国」との関係を考える

尖閣諸島の領有権問題より、日中関係は冷え切っていますが、1972年9月29日、当時の田中角栄首相と中国の周恩来首相が北京で日中共同声明に調印し、両国は「恒久的な平和友好関係を確立すること」に合意した。中国は日本に対する戦争賠償の請求を放棄し、日中国交正常化を記念して、上野動物園にジャイアントパンダのカンカンとランランが贈られたのは有名な話。戦後、満蒙開拓団の中国残留孤児を育てた養父母の存在に光を当てるシンポジウムが、満蒙開拓平和祈念館と日中友好協会の招きで昨年12月12日に長野で開かれた。敵国だった日本の子供を引き取った養母の李淑蘭さん(88)が登壇し「孤児になった子を助けるのは当たり前という信念があった」などと当時の心境を語った。今回、講師の小林軍治さんは、「なぜ中国残留孤児が生まれたのか」「日本に帰るまでのつらい道のり」「帰国してからの新たな困難」「なぜ国を相手に裁判をしたのか」「これからの日中友好は……」などについて講演を予定しています。

とき 4月10日(日)  
 ところ ライフパーク倉敷

講演 10時～12時まで  
 テーマ「中国残留孤児の歴史と現状」  
 講師 小林軍治  
 (日中友好協会岡山支部 事務局長)  
 参加無料  
 憲法を暮らしに生かす倉敷市民の会

次回の新聞送付作業は  
 4月11日(月)午後1時半から  
 民主会館2階で行います。  
 前回お手伝いくださった方です。

小林  
 真田  
 竹内和  
 竹内袈  
 坪井